



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澁谷 信雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL)06-7711-2571
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	38,454	5.4	2,295	18.2	2,634	22.7	1,924	38.2
29年3月期第2四半期	36,459	△2.4	1,940	△6.2	2,146	△8.4	1,392	△4.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,576百万円(74.6%) 29年3月期第2四半期 1,475百万円(259.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	34.86	—
29年3月期第2四半期	25.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	82,760	53,613	63.7
29年3月期	79,829	51,426	63.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 52,742百万円 29年3月期 50,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	7.8	4,700	4.0	5,300	3.7	3,300	0.7	59.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期 2 Q	55,577,526株	29年3月期	55,577,526株
② 期末自己株式数	372,315株	29年3月期	372,182株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	55,205,278株	29年3月期 2 Q	55,208,304株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、設備投資や雇用環境の改善が続き、景気は回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、販売体制の強化や生産体制の効率化など、収益確保に向けてグループ一体となった積極的な事業活動に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は384億54万円（前年同期比5.4%増加）、営業利益は22億95百万円（前年同期比18.2%増加）、経常利益は26億34百万円（前年同期比22.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億24百万円（前年同期比38.2%増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、鉄鋼、半導体、化学、電機、自動車などの仕向け先が緩やかな回復傾向で推移いたしました。このような事業環境のなか、シリンダービジネスの収益力強化のため、積極的な投資を行ない、生産体制の合理化や物流面における効率化などを進めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、建設、橋梁など現場工事向けや造船向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、炭酸ガス、特殊ガスが新規獲得及び需要先の回復により増加しました。LPガス等の石油系ガスは輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資の機運の高まりを受け、溶接ロボットや工作機械等の設備投資に持ち直しの動きがあり、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、半導体向け特殊容器などが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は289億69百万円（前年同期比5.8%増加）となりました。営業利益は21億45百万円（前年同期比17.3%増加）となりました。

② 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、緩やかな回復基調がみられるものの、中国市場の成長鈍化、原料価格の変動などの影響がみられ不透明な状況で推移いたしました。このような事業環境のなか、当事業は新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品の開発に努めました。

『接着剤』は、ペガールが新規需要先の獲得により紙用、塗料用、粘着用に需要を伸ばし、シアノンが海外向けに医療用が伸長しました。また、ペガロックが新規用途の開発により国内向けが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が夏場の天候不順により減少し、エアゾール製品が新規需要先の獲得により増加したものの、売上高は前年同期を下回りました。

このほか、設備賃貸の収入を加えた当事業の売上高は91億98百万円（前年同期比4.5%増加）となりました。営業利益は7億16百万円（前年同期比6.7%増加）となりました。

③ その他事業

鉄道事業者向けのLSIカードの需要が減少し、海外向けの容器の需要が増加したものの、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は2億86百万円（前年同期比4.4%減少）、営業損失は20百万円（前年同期比60.1%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億31百万円増加して827億60百万円となりました。流動資産は、売上債権は減少したものの現金及び預金の増加により前連結会計年度末に比べ18億92百万円増加し、465億5百万円となりました。固定資産は、株式市場の好況により投資有価証券が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ10億38百万円増加し、362億55百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億43百万円増加して291億47百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が減少したものの支払手形及び買掛金が増加し、1年内返済予定の長期借入金の振り替えにより前連結会計年度末に比べ11億72百万円増加し、239億67百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したものの1年内返済予定の長期借入金の振替えにより前連結会計年度末に比べ4億29百万円減少し、51億79百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、利益剰余金とその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ21億87百万円増加して536億13百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成29年5月12日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,223	18,004
受取手形及び売掛金	21,241	21,193
電子記録債権	2,312	2,199
商品及び製品	2,482	2,572
仕掛品	429	484
原材料及び貯蔵品	1,185	1,254
繰延税金資産	621	587
その他	208	298
貸倒引当金	△91	△90
流動資産合計	44,613	46,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,139	6,825
機械装置及び運搬具（純額）	2,970	3,035
土地	13,550	13,386
建設仮勘定	649	234
その他（純額）	945	954
有形固定資産合計	24,254	24,437
無形固定資産	371	342
投資その他の資産		
投資有価証券	9,893	10,882
繰延税金資産	23	18
その他	732	635
貸倒引当金	△58	△60
投資その他の資産合計	10,590	11,475
固定資産合計	35,216	36,255
資産合計	79,829	82,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,819	11,263
電子記録債務	5,718	5,930
短期借入金	1,516	1,626
1年内返済予定の長期借入金	33	1,019
未払法人税等	954	535
賞与引当金	1,147	1,147
繰延税金負債	0	0
その他	2,606	2,443
流動負債合計	22,795	23,967
固定負債		
長期借入金	3,012	2,004
退職給付に係る負債	631	608
役員退職慰労引当金	39	12
繰延税金負債	1,184	1,780
その他	741	773
固定負債合計	5,608	5,179
負債合計	28,403	29,147
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	42,193	43,731
自己株式	△198	△199
株主資本合計	47,640	49,178
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,392	4,026
為替換算調整勘定	46	12
退職給付に係る調整累計額	△507	△474
その他の包括利益累計額合計	2,930	3,563
非支配株主持分	854	871
純資産合計	51,426	53,613
負債純資産合計	79,829	82,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	36,459	38,454
売上原価	26,072	27,497
売上総利益	10,386	10,957
販売費及び一般管理費	8,446	8,662
営業利益	1,940	2,295
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	101	115
受取手数料	66	61
為替差益	—	22
その他	198	228
営業外収益合計	367	430
営業外費用		
支払利息	18	17
為替差損	61	—
その他	81	73
営業外費用合計	161	90
経常利益	2,146	2,634
特別利益		
固定資産売却益	—	167
退職給付に係る負債戻入額	31	—
その他	—	0
特別利益合計	31	167
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
ゴルフ会員権評価損	—	8
減損損失	3	—
特別損失合計	3	8
税金等調整前四半期純利益	2,173	2,793
法人税、住民税及び事業税	765	532
法人税等調整額	0	327
法人税等合計	765	859
四半期純利益	1,408	1,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,392	1,924

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,408	1,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122	642
為替換算調整勘定	△84	△33
退職給付に係る調整額	28	33
その他の包括利益合計	66	642
四半期包括利益	1,475	2,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,457	2,557
非支配株主に係る四半期包括利益	17	19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,173	2,793
減価償却費	882	881
減損損失	3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	11	27
退職給付に係る負債の戻入額	△31	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△26
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△95	△82
受取利息及び受取配当金	△103	△117
支払利息	18	17
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△167
為替差損益(△は益)	52	△3
売上債権の増減額(△は増加)	1,372	158
たな卸資産の増減額(△は増加)	△118	△217
仕入債務の増減額(△は減少)	△883	657
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32	△44
その他	△83	90
小計	3,159	3,968
利息及び配当金の受取額	103	117
利息の支払額	△18	△17
法人税等の支払額	△889	△913
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,355	3,154
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	△21
定期預金の払戻による収入	21	21
有形固定資産の取得による支出	△958	△1,471
有形固定資産の売却による収入	—	383
投資有価証券の取得による支出	△51	△54
投資有価証券の売却による収入	1	—
その他の支出	△36	△14
その他の収入	12	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,031	△1,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△790	110
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,065	△22
配当金の支払額	△386	△386
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△129	—
その他の支出	△8	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,379	△301
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72	1,781
現金及び現金同等物の期首残高	15,648	16,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,575	17,962

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,358	8,801	299	36,459	—	36,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	27,358	8,801	299	36,459	—	36,459
セグメント利益又は 損失(△)	1,827	671	△12	2,486	△546	1,940

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△546百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,969	9,198	286	38,454	—	38,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	28,969	9,198	286	38,454	—	38,454
セグメント利益又は 損失(△)	2,145	716	△20	2,841	△546	2,295

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△546百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。